新年を語る

会派等の抱負

◎幹事長
○副幹事長

美しい街　安心安全の街
豊島区を築く
自由民主党豊島区議団

◎篠　敞一（しの　しょういち）

○村上　宇一（むらかみ　ういち）

竹下ひろみ（たけした）

堀　宏道（ほり　こうどう）

本橋　弘隆（もとはし　ひろたか）

吉村　辰明（よしむら　たつあき）

戸塚　由雄（とつか　よしお）

小峰　博（こみね　ひろし）

遠竹よしこ（とおたけ）

吉田　明三（よしだ　めいぞう）

里中　郁男（さとなか　いくお）

池田　尚弘（いけだ　なおひろ）

副島　健（そえじま　けん）

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、秋篠宮ご夫妻にご長男悠仁親王さまがご誕生され、また皇太子ご夫妻の長女敬宮愛子さまの「着袴の儀」が行われるなど皇室のご慶事が続き、誠に喜ばしく存じるところであります。

一方、国内外では、自然災害や事件事故の多発で、多くの方たちが命を失い、家屋や財産に多大な被害をこうむられました。年が明けた現在でもご苦労の多い状況におられることとご推察し、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、平成17年度の決算は、都区財政調整交付金や特別区民税の大幅な伸びなど歳入状況の改善と、行革による歳出抑制の徹底が図られた結果、実質単年度収支で23億円余の黒字となり、また、経常収支比率も77・8％と12年ぶりに改善されました。この成果は、財政再建のために痛みに耐えていただいた区民各位のご理解とご協力があったからこそと思います。勿論、区長も区の職員も、これまで手のつけられなかった職員給与のカットに初めて踏み込み、人件費削減への緒をつけたり、指定管理者制度の導入による民間委託の拡大を進めて、施設維持管理費などのコストダウンを図り、行政のスリム化と効率化を推進してきたことも大きな要素となっております。

このように財政再建の道筋に明るさが見えてまいりましたが、まだ平成21年度までに見込まれる財源不足額は53億円とされており、収支均衡がとれるのは、現在の景気動向がこのまま持続するとして、平成22年以降と見込まれています。加えて区の施設は107カ所を数え、今後、それらの施設を改修・補修していくための費用は膨大な額になると予想されます。老朽化施設の改修経費はほとんどが一般財源の負担となることから、施設の集約化を図ることが求められています。

また、区民サービスの質も、他区に較べレベルダウンしているものが多く、これも復元していかなければなりません。介護保険も医療保険も国の財政負担抑制が図られる中、個人の負担が重くなってきています。

区民の暮らしの痛みを身近な自治体である豊島区がしっかりと受け止めていかなければなりません。

翻ってみますと、戦後生まれの初の安倍総理大臣は、その決意として、子どもたちの世代が自信と誇りの持てる「美しい国日本」を創り上げていく、目指すは「文化・伝統・自然・歴史を大切にする国」「自由と規律を知る凛とした国」であると表明しました。私たち自由民主党区議団も、日本の伝統文化を大切に継承し、美しい街、安心安全の街豊島区を築き、区民の暮らしをしっかりと支えてまいる覚悟であります。今年もよろしくお願い申し上げます。

未来へ展望のある
区政実現へ決意を新に！
民主区民豊島区議団

◎大谷　洋子（おおたに　ようこ）

○永野　裕子（ながの　ひろこ）

中田　兵衛（なかた　ひょうえ）

藤本きんじ（ふじもと）

福原　保子（ふくはら　やすこ）

小林　俊史（こばやし　としふみ）

原田　太吉（はらだ　たきち）

新年明けましておめでとうございます。

景気が回復してきているといわれていますが、中小企業の営業はまだ厳しい状況が続いています。豊島区では身の丈に合った持続可能な財政構造を実現するために、区民の皆様にご理解ご協力をいただいた行財政改革により、今までの財政健全化が成果として見えてきていますが、過去の借金返済が続く事により、区財政は未だ余裕のある状況ではありません。続いて、経費の抑制、少ない予算で大きな効果を出す為に、区民の皆様と行政との協働により、未来へ展望の持てる区政実現へ決意を新にしております。行政がすべき事は何か、民間でできる事は何か、政治が解決する事は何かを再点検し、物質的な豊かさだけではなく、暖かな気持ちが伝わる効率的で質の高いサービスが提供できるよう、迅速な対応で更なる区民サービス向上に努めて参ります。施策の策定、実施には住民の理解と自治への意欲が失われないよう公平公正な行政運営に努め、これからも「行財政改革プラン」の実施に際して、一方的で拙速、安易なものとならないように今年も共に考え行動して参ります。福祉、教育を基本に大きな柱の文化・健康・都市再生・環境施策を重点に、いじめ問題等で子どもの尊い命が失われる事にならないよう安全で安心の教育環境整備と、住み続けたい街の中で子育て、介護が安定して行えるよう取り組みます。本年もよろしくお願いいたします。

住んで良かったと
言われる豊島区に
公明党豊島区議団

◎此島　澄子（このしま　すみこ）

○中島　義春（なかじま　よしはる）

島村　高彦（しまむら　たかひこ）

高橋佳代子（たかはし　よしこ）

木下　広（きのした　ひろし）

池内晋三郎（いけうちしんざぶろう）

小倉　秀雄（おぐら　ひでお）

新年あけましておめでとうございます。

公明党に対する区民の皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。

さて、豊島区でも、平成13年から財政健全化に向け改革を断行してまいりましたが、ようやく長いトンネルの先に明るい光が見えてきたといったところでしょうか。区民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

まだまだ負の財産も多く、小・中学校の建替えを中心とする施設再構築も必要であり、楽観視できるものではありませんが、地方分権の進捗により、財政力の違い等から、各自治体間の格差も現れてきております。

そこで公明党は、「住んで良かった」と言われる豊島区を目指し、民間活力との協働や19の施設の指定管理者制度の導入、介護保険施設の民営化を推進する一方、安心・安全・防災メールに引き続き、10月から子ども医療費の中学3年生までの拡大・AED（自動式除細動機）84カ所の設置・小学生の放課後対策〝スキップ〟の導入や校庭の一部芝生化・東長崎駅やJR大塚駅の整備改善・新中央図書館や〝アウルスポット〟の実現など、改革とともに、少子高齢社会や安心・安全への対応に尽力してまいりました。

本年も心新たに、生活者の視点・現場主義に立って、区民の皆様のお役に立てるよう、全力で取り組んでまいりますので、さらなる力強いご支援を心からお願い申し上げます。

区民のくらし、福祉優
先の区政に転換します
日本共産党豊島区議会議員団

◎垣内　信行（かきうち　のぶゆき）

○小林ひろみ（こばやし）

森　とおる（もり）

河野たえ子（こうの）

新年あけましておめでとうございます。

今年こそ、みなさんにとって、良い年になるようがんばります。

安倍内閣は、教育基本法、憲法9条改悪を進め、国民の権利と平和を脅かす動きを強めています。また、相つぐ増税や年金、介護、医療改悪で、くらしも景気も悪くなるばかりです。

豊島区は、区民サービスを大幅に削った結果、財政は黒字に転換し、余らせたお金を基金に58億円もためこんでいます。また、東池袋再開発に多額の税金を投入し、区民の声を聞かずに新庁舎計画を進めようとしています。

日本共産党は、だれもが安心してくらせるように、くらし、福祉優先の区政に転換するために、今年も力を尽くします。

本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

豊島区民の皆様へ
無所属ネット

◎日野　克彰（ひの　かつあき）

○水谷　泉（みずたに　いずみ）

1．日野克彰です

合理的政策をめざします。

私の活動等は、発行の報告の他、ホームページ www.hino-katsuaki.com・ブログ http://d.hatena.ne.jp/hino-katsuaki をご覧下さい。

2．水谷泉です

さまざまな声を拾って、解りやすい情報の発信をします。毎日の活動は、http://izumi.seikatsusha.net です。ご意見は toshima@seikatsusha.net へどうぞ。

人々にやさしい
いきいき豊島区を！
社会民主党

山口　菊子（やまぐち　きくこ）

税制や法律が変わり国民負担が増え、区財政の厳しさも続いていますが、ひとりひとりが大切にされる豊島区の実現のために、皆様の声を議会に反映するよう今年も努力いたします。

議会と行政の一体化が
税金の無駄遣いを生む
豊島行革一一〇番

五十嵐みのる（いがらし）

〔議会の無駄遣い〕①議員に本会議等出席毎に費用弁償（交通費等）3千円支給②議員に区長の附属機関出席毎に最低1万3千700円支給③領収書非公開の政務調査費議員一人当たり年180万